

第41回 景気動向レポート

2022年1～3月期

○概要

調査時期 令和4年3月上旬
 調査地域 平塚市、厚木市、相模原市、大和市、
 伊勢原市、秦野市、座間市、
 海老名市、茅ヶ崎市、高座郡、愛甲郡
 全調査先 当金庫取引先 319先
 回答先数 当金庫取引先 315先
 (内訳) 製造業：63先
 卸売業：19先
 小売業：46先
 サービス業：73先
 建設業：84先
 不動産業：30先
 回答率 98.7%

○調査方法

当金庫職員による面接聞き取り方式、または、
 調査先による直接記入・回収方式

○分析方法

DI (Diffusion Index)
 DIとは、各質問項目に対して「良い(増加・上昇)」
 と回答された企業の割合から「悪い(減少・下降)」
 と回答された企業の割合を差引いて算出した指標です。
 DIがプラスであれば上向き、0であれば現状維持、
 マイナスであれば下向きというように判断できます。

業況DIの推移 (業種別DI天気図)

	2021年 1-3月期	2021年 4-6月期	2021年 7-9月期	2021年 10-12月期 (前期)	2022年 1-3月期 (当期)	2022年 4-6月期 (予想)
製造業	↗ ☔	↗ ☁	↗ ☁	↗ ☁	↔ ☁	↔ ☁
卸売業	↘ ☔	↗ ☔	↗ ☔	↗ ⬆	↘ ☔	↗ ☁
小売業	↗ ☔	↗ ☁	↘ ⬆	↗ ☁	↘ ☔	↗ ☔
サービス業	↘ ⬆	↗ ☁	↘ ☁	↗ ☁	↘ ☁	↗ ☁
建設業	↘ ☁	↘ ☁	↗ ☁	↘ ☁	↘ ☁	↘ ☁
不動産業	↗ ☁	↘ ☁	↘ ☁	↗ ☁	↘ ⬆	↗ ☁
全業種	↘ ⬆	↗ ☁	↗ ☁	↗ ☁	↘ ☁	↗ ☁



全業種

今期：業況・売上・収益D I 共に悪化

来期：業況・売上・収益D I 共に改善の見込み

2022年1～3月期の当金庫営業地区内における業況DIは、対前期比▲9.0ポイントの▲14.4と4期ぶりの悪化。製造業を除く全業種で悪化となりました。

売上DIについては、対前期比▲13.3ポイントの▲8.8となり、収益DIは対前期比▲13.7ポイントの▲16.9となりました。

その他のDIでは、販売・料金・請負価格DIは対前期比+4.8ポイントの9.6となり3期連続の上昇、仕入・原材料・材料価格DIは対前期比+4.4ポイントの50.2となり7期連続の上昇、資金繰りDIは対前期比▲4.5ポイントの▲6.7となりました。人手DIについては対前期比▲1.1ポイントの▲25.1となりました。

来期（2022年4～6月期）の業況予想では、卸売業・小売業・サービス業・不動産業で改善、建設業で悪化を予想しており、全業種総合業況DIは、対当期比+1.0ポイントの▲13.4と改善を見込んでいます。

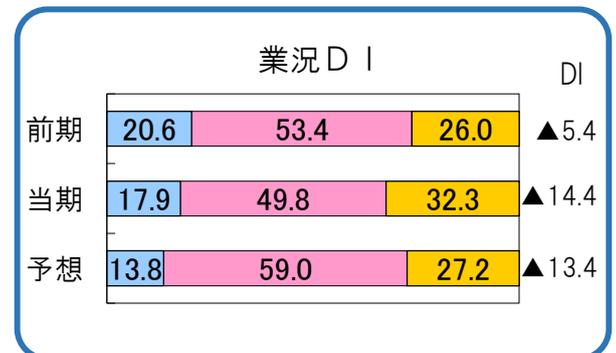
主要DI構成



○業況DI



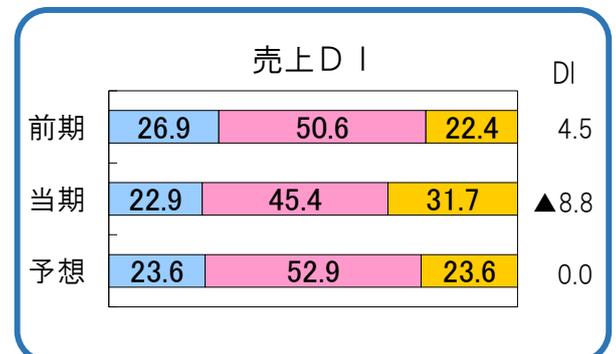
業況DIは、対前期比▲9.0ポイントの▲14.4(前年同期▲21.0・前回予想との差▲4.3)となりました。製造業を除く全業種で悪化となり、業況DIは4期ぶりの悪化となりました。今後の業況DIは、対当期比+1.0ポイントの▲13.4と改善を見込んでいます。



○売上DI



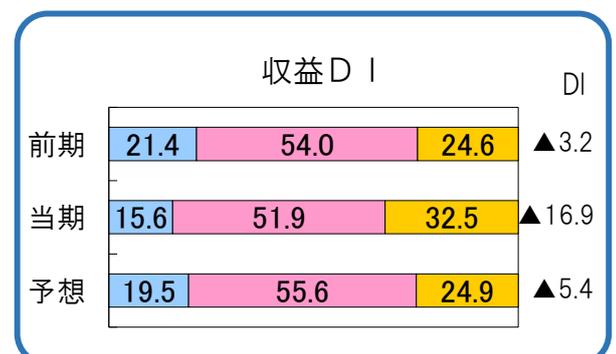
売上DIは、対前期比▲13.3ポイントの▲8.8(前年同期▲16.6・前回予想との差▲7.8)となりました。製造業・卸売業を除く全業種で悪化となり、売上DIは大幅な悪化となりました。今後の売上DIは、対当期比+8.8ポイントの0.0と改善を見込んでいます。



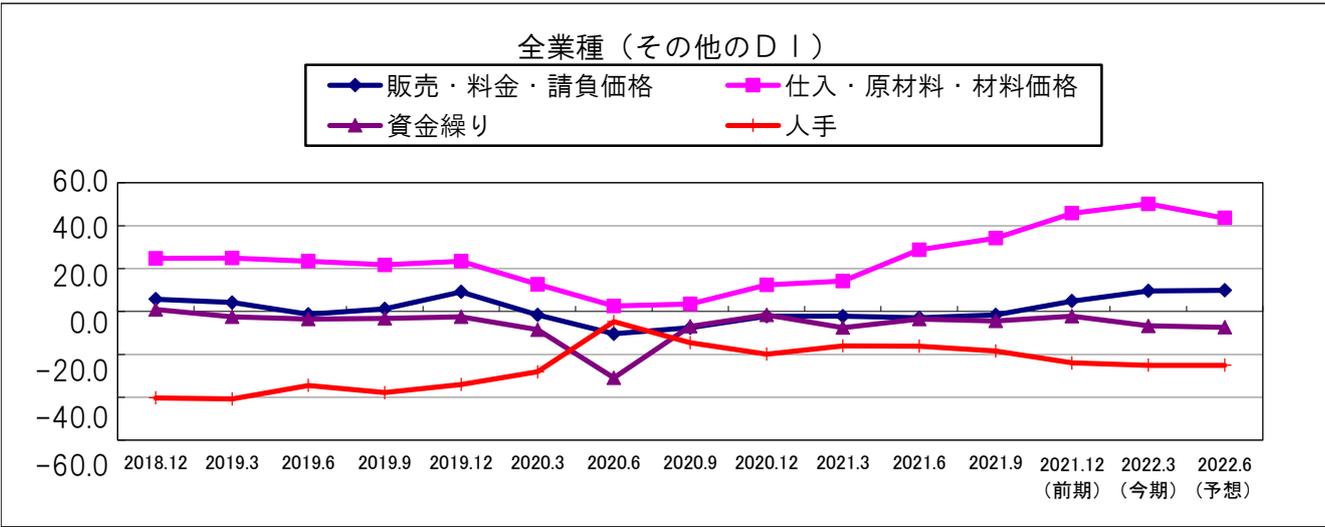
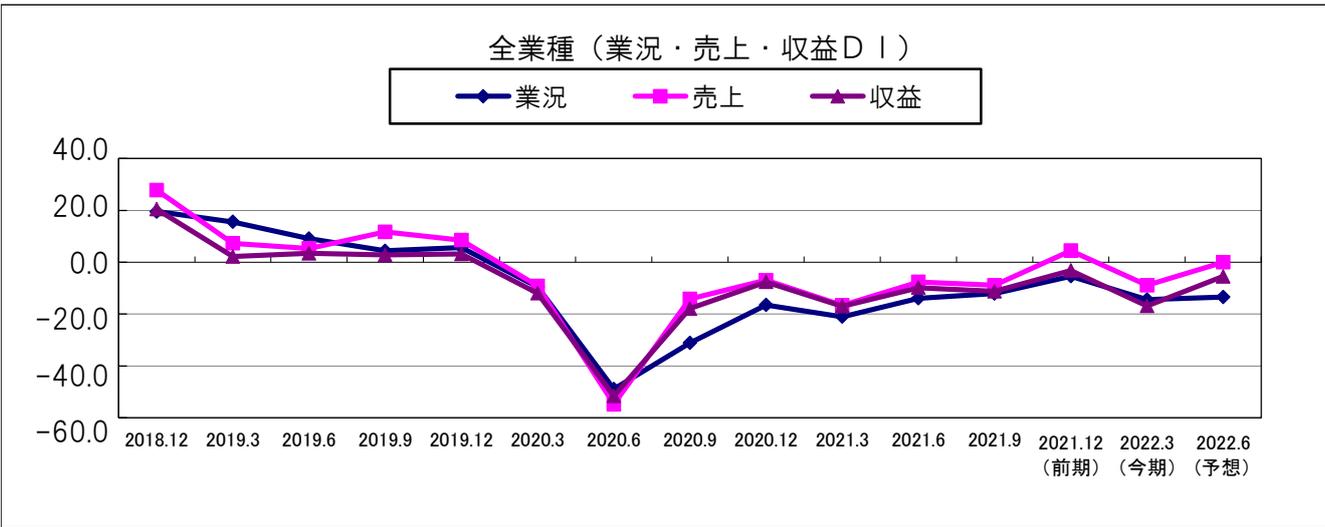
○収益DI



収益DIは、対前期比▲13.7ポイントの▲16.9(前年同期▲17.0・前回予想との差▲10.5)となりました。製造業を除く全業種で悪化となり、収益DIは大幅な悪化となりました。今後の収益DIは、対当期比+11.5ポイントの▲5.4と大幅な改善を見込んでいます。



DIの推移



経営サポートセンターNEWS

経営者・創業希望者の皆様へ
課題解決のサポートをさせていただきます！！



- ◎主なサポートメニュー
- 創業支援
 - 販路拡大
 - M&A
 - 事業承継
 - ICT
 - 補助金等

◎課題解決に関するお問い合わせは
〒254-0043 平塚市紅谷町11-19
平塚信用金庫 営業統括部 経営サポートセンター
TEL：0463-24-3031

TRi**bank** Hiratsuka
平塚信用金庫
<http://www.shinkin.co.jp/hiratsuka/>

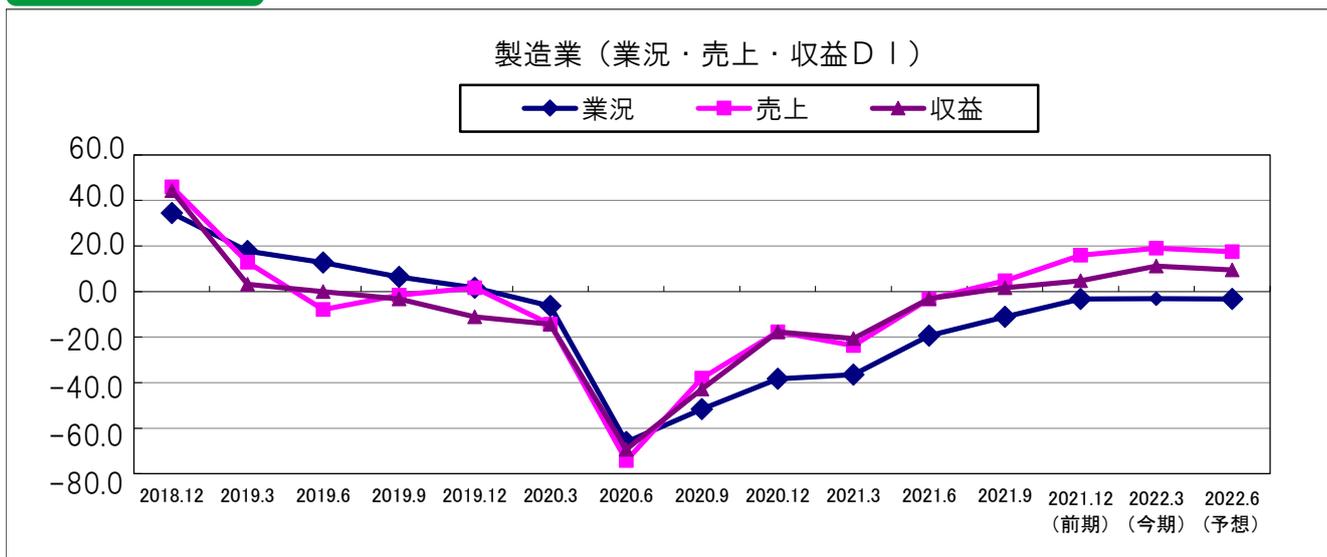


経営サポートセンターでは、
多くの専門家や外部機関と連
携して、お客さまの課題解決
に取り組んでいます。
お困りごとは、是非ひらしん
まで。お客さまと共に課題解
決のサポートをさせていただきます！

製造業

今期：売上・収益DIは改善、業況DIは横這い
 来期：業況DIは横這い、売上・収益DIは悪化の見込み

主要DI推移



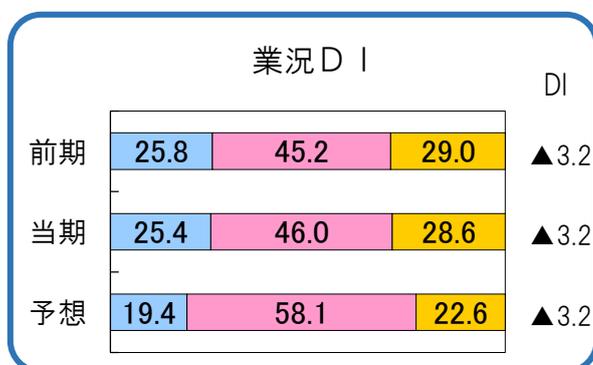
主要DI構成



○業況DI



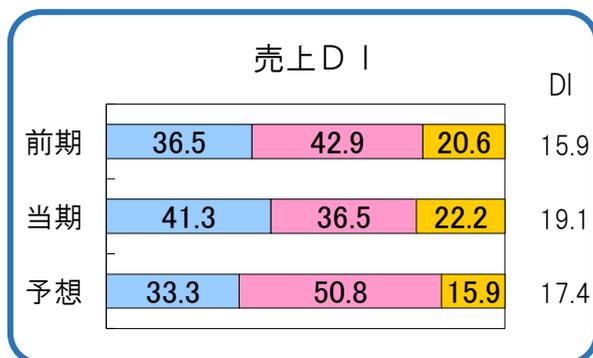
業況DIは、対前期比±0.0ポイントの▲3.2(前年同期▲36.5・前回予想との差+8.3)の横這いとなりました。今後の業況DIについては、対当期比±0.0ポイントの▲3.2と横這いを見込んでいます。



○売上DI



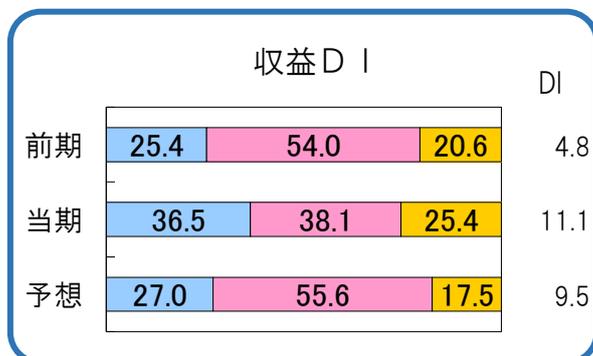
売上DIは、対前期比+3.2ポイントの19.1(前年同期▲23.8・前回予想との差+6.2)と4期連続の改善となりました。今後の売上DIについては、対当期比▲1.7ポイントの17.4と悪化を見込んでいます。



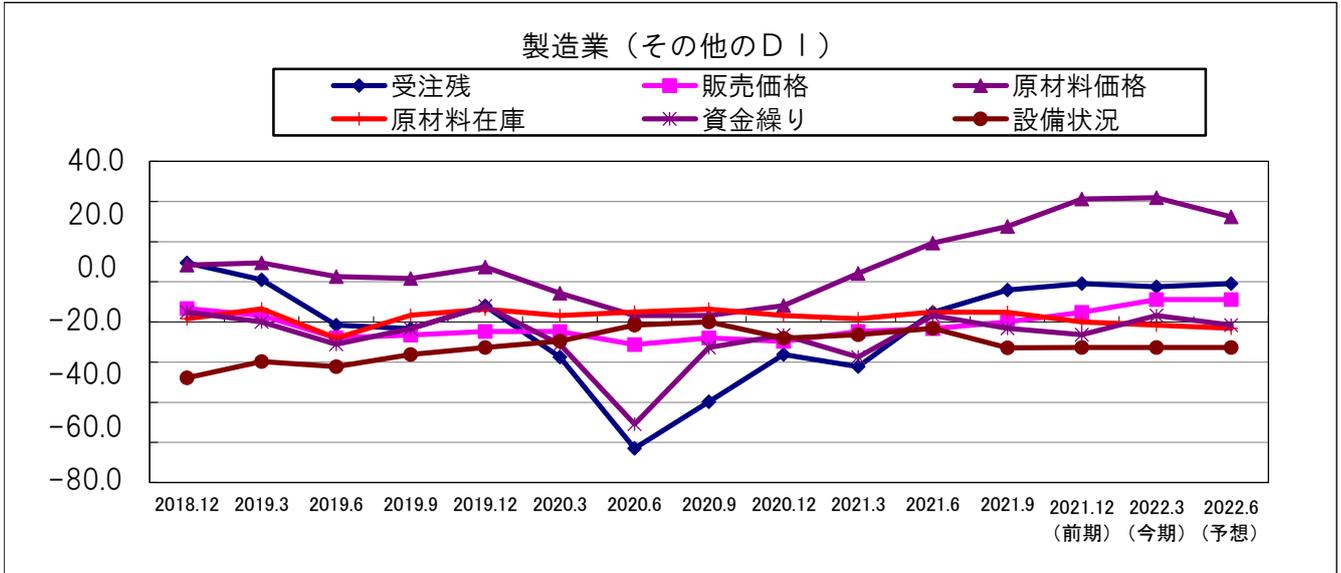
○収益DI



収益DIは、対前期比+6.3ポイントの11.1(前年同期▲20.6・前回予想との差+12.7)と4期連続の改善となりました。今後の収益DIについては、対当期比▲1.6ポイントの9.5と悪化を見込んでいます。



その他のD I 推移

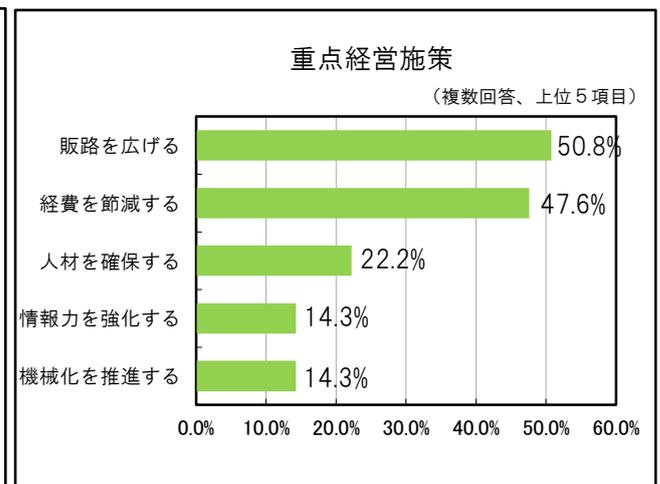
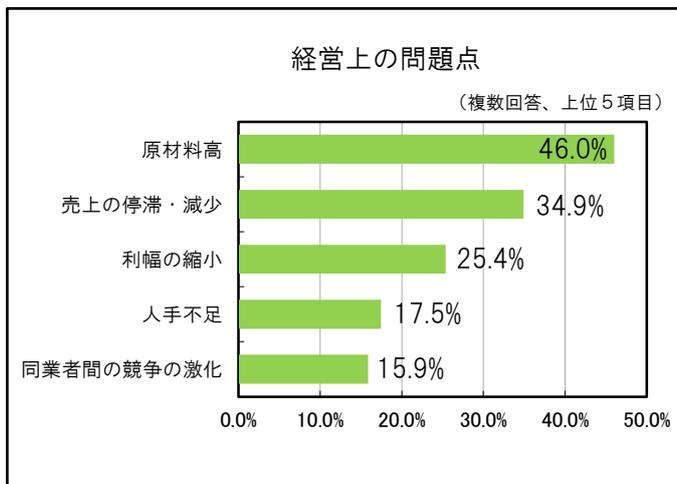


○その他のD I

対前期比でみると、受注残DIは▲1.5ポイントの17.5、販売価格DIは+6.3ポイントの11.1、原材料価格DIは+0.6ポイントの61.9、原材料在庫DIは▲1.6ポイントの▲1.6、資金繰りDIは+9.5ポイントの3.2、設備状況DIは±0.0ポイントの▲12.7となりました。

今後は、受注残DIは上昇、販売価格DI・設備状況DIは横這い、原材料価格DI・原材料在庫DI・資金繰りDIは低下を見込んでいます。

経営課題・重点施策



【経営課題】

経営上の問題点として挙げられたのは「原材料高」が46.0%と最も多く、次いで「売上の停滞・減少」が34.9%、「利幅の縮小」25.4%、「人手不足」17.5%「同業者間の競争の激化」15.9%となりました。

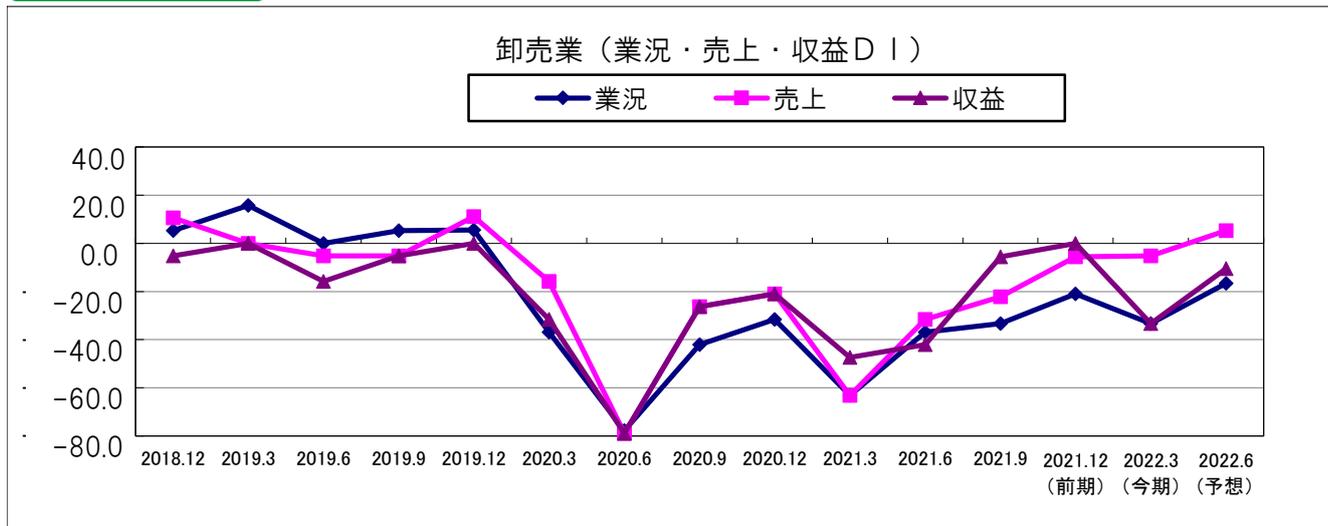
【重点施策】

当面の重点経営施策として挙げられたのは「販路を広げる」が50.8%と最も多く、次いで「経費を節減する」47.6%、「人材を確保する」22.2%、「情報力を強化する」「機械化を推進する」が共に14.3%となりました。

卸売業

今期：売上D Iは改善、業況・収益D Iは悪化
 来期：業況・売上・収益D I共に改善の見込み

主要D I 推移

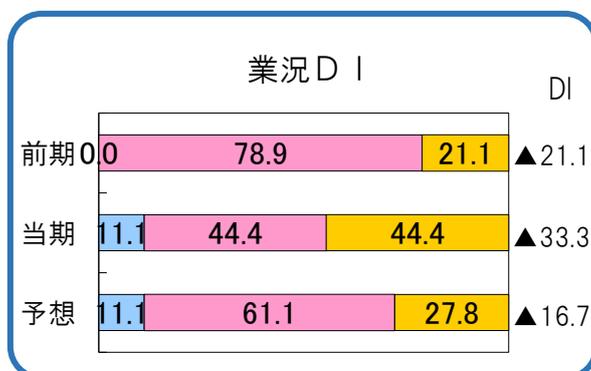


主要D I 構成

○業況D I



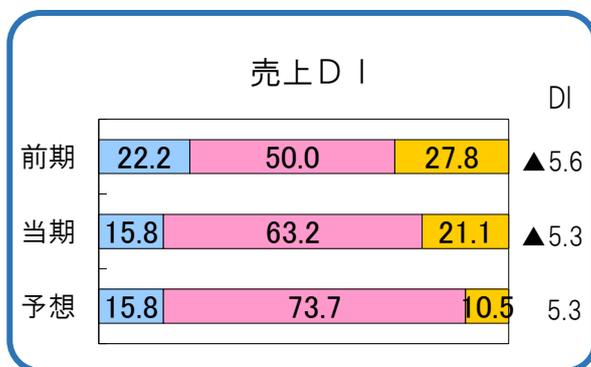
業況DIは、対前期比▲12.2ポイントの▲33.3(前年同期▲63.1・前回予想との差▲28.0)と4期ぶりの悪化となりました。今後の業況DIについては、対当期比+16.6ポイントの▲16.7と大幅な改善を見込んでいます。



○売上D I



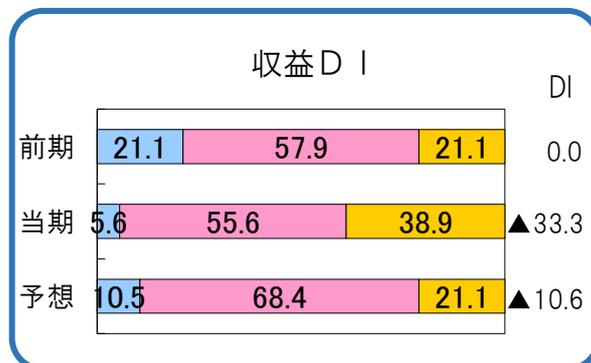
売上DIは、対前期比+0.3ポイントの▲5.3(前年同期▲63.1・前回予想との差▲5.3)と4期連続の改善となりました。今後の売上DIについては、対当期比+10.6ポイントの5.3と大幅な改善を見込んでいます。



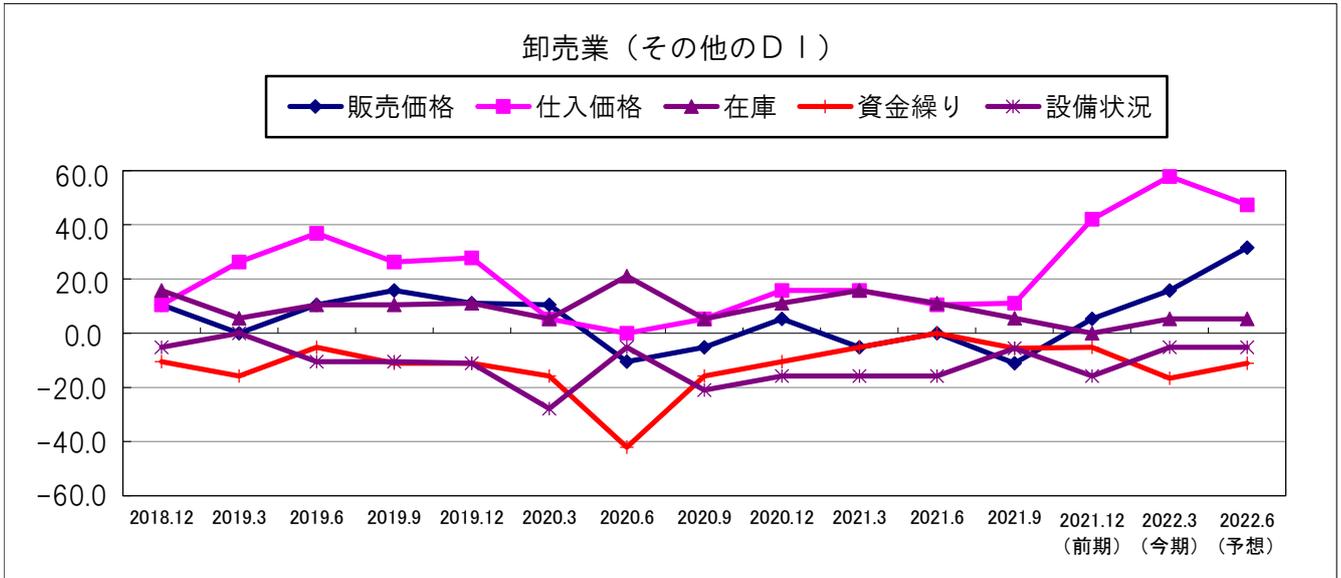
○収益D I



収益DIは、対前期比▲33.3ポイントの▲33.3(前年同期▲47.4・前回予想との差▲43.8)と大幅な悪化となりました。今後の収益DIについては、対当期比+22.7ポイントの▲10.6と大幅な改善を見込んでいます。



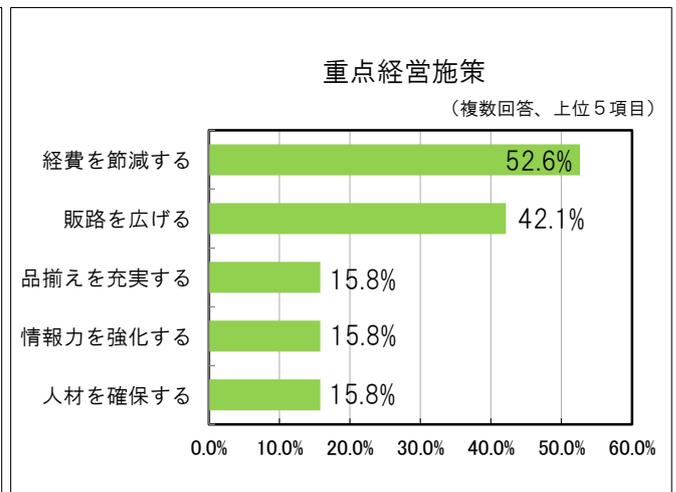
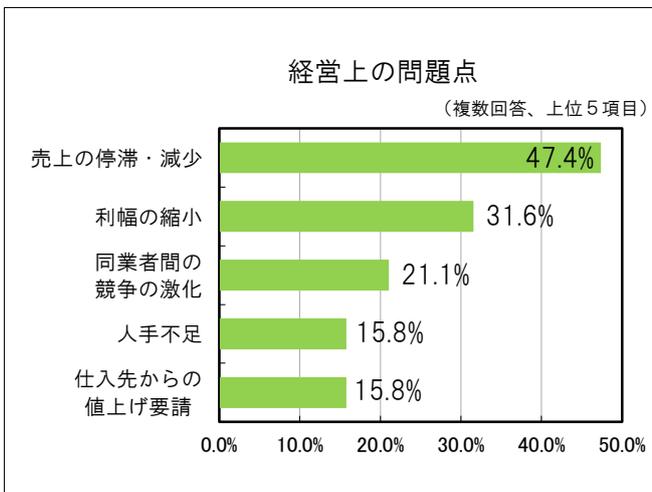
その他のD I 推移



○その他のD I

対前期比で見ると、販売価格DIは+10.5ポイントの15.8、仕入価格DIは+15.8ポイントの57.9、在庫DIは+5.3ポイントの5.3、資金繰りDIは▲11.4ポイントの▲16.7、設備状況DIは+10.5ポイントの▲5.3となりました。今後は、販売価格DI・資金繰りDIは上昇、在庫DI・設備状況DIは横這い、仕入価格DIは低下を見込んでいます。

経営課題・重点施策



【経営課題】

経営上の問題点として挙げられたのは「売上の停滞・減少」が47.4%と最も多く、次いで「利幅の縮小」31.6%、「同業者間の競争の激化」21.1%、「人手不足」「仕入先からの値上げ要請」が共に15.8%となりました。

【重点施策】

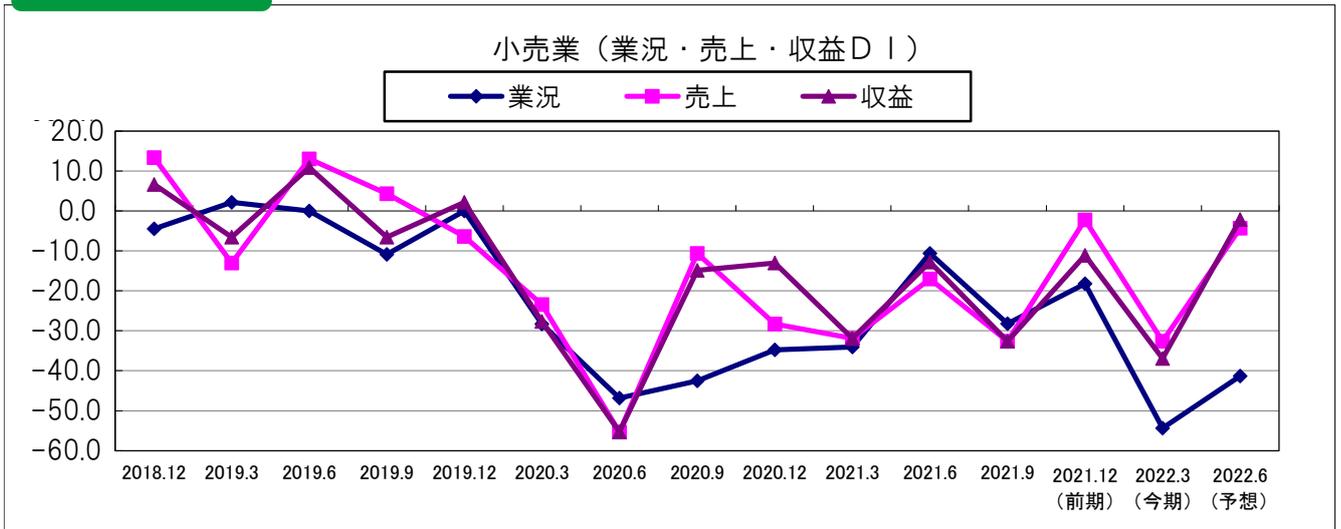
当面の重点経営施策として挙げられたのは「経費を節減する」52.6%が最も多く、次いで「販路を広げる」42.1%、「品揃えを充実する」「情報力を強化する」「人材を確保する」が共に15.8%となりました。

小売業

今期：業況・売上・収益D I 共に悪化

来期：業況・売上・収益D I 共に改善の見込み

主要D I 推移



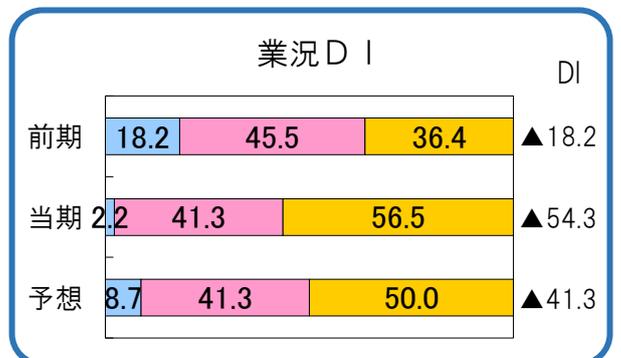
主要D I 構成



○業況D I



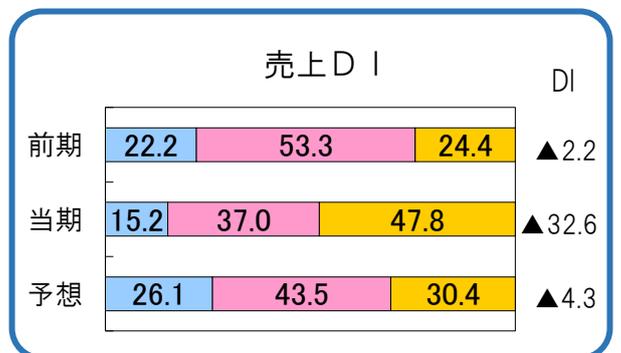
業況DIは、対前期比▲36.1ポイントの▲54.3(前年同期▲34.0・前回予想との差▲27.0)と大幅な悪化となりました。今後の業況DIについては、対当期比+13.0ポイントの▲41.3と改善を見込んでいます。



○売上D I



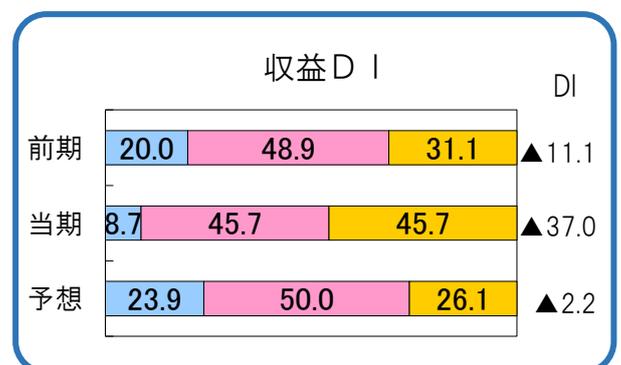
売上DIは、対前期比▲30.4ポイントの▲32.6(前年同期▲31.9・前回予想との差▲19.3)と大幅な悪化となりました。今後の売上DIについては、対当期比+28.3ポイントの▲4.3と大幅な改善を見込んでいます。



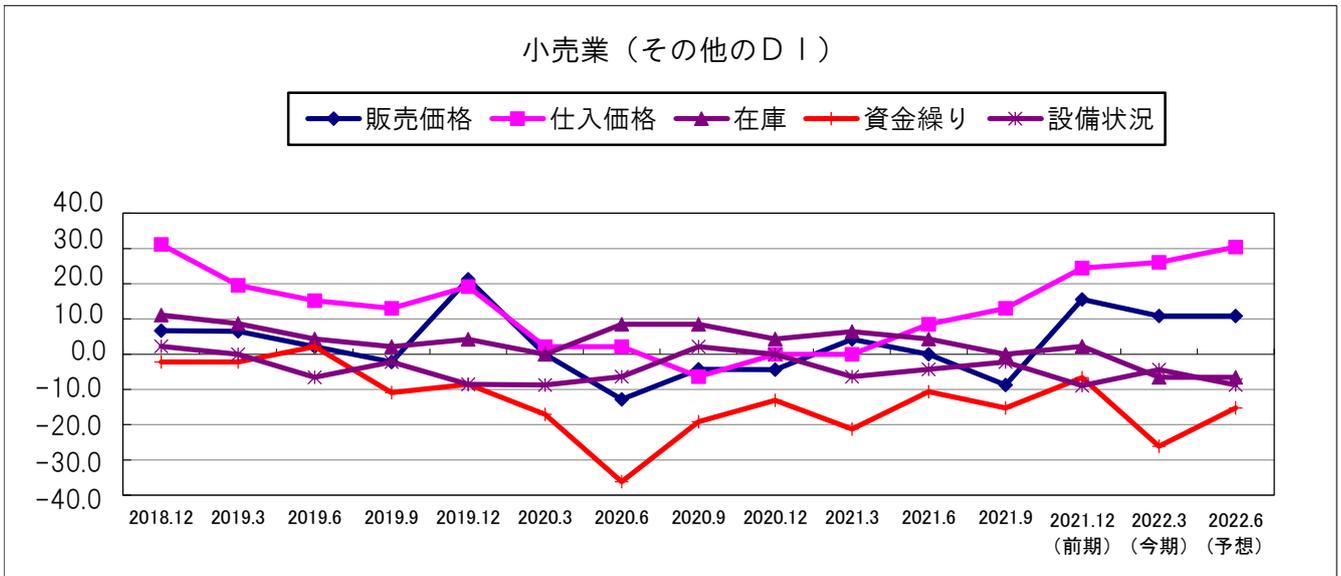
○収益D I



収益DIは、対前期比▲25.9ポイントの▲37.0(前年同期▲31.9・前回予想との差▲21.4)と大幅な悪化となりました。今後の収益DIについては、対当期比+34.8ポイントの▲2.2と大幅な改善を見込んでいます。



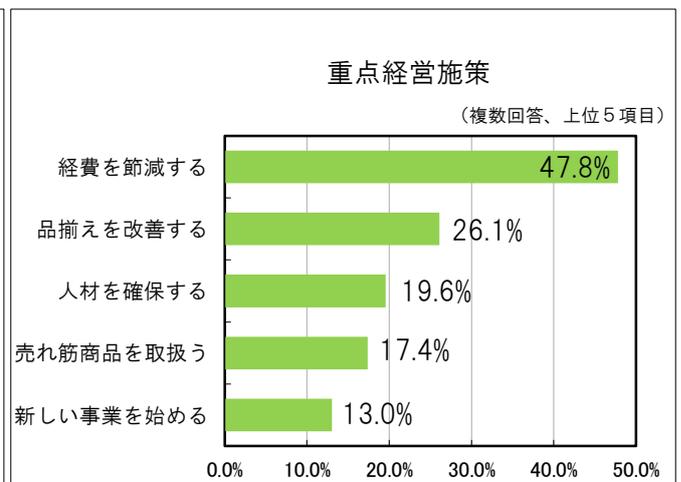
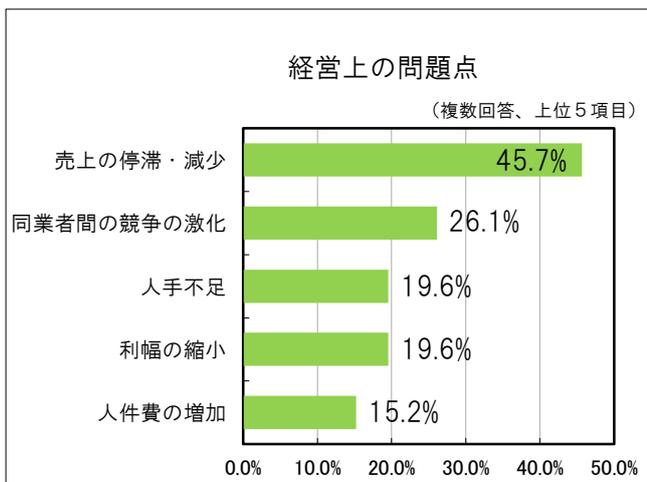
その他のD I 推移



○その他のD I

対前期比でみると、販売価格DIは▲4.7ポイントの10.9、仕入価格DIは+1.7ポイントの26.1、在庫DIは▲8.7ポイントの▲6.5、資金繰りDIは▲19.4ポイントの▲26.1、設備状況DIは+4.6ポイントの▲4.3となりました。今後は、仕入価格DI・資金繰りDIは上昇、販売価格DI・在庫DIは横這い、設備状況DIは低下を見込んでいます。

経営課題・重点施策



【経営課題】

経営上の問題点として挙げられたのは「売上の停滞・減少」が45.7%と最も多く、次いで「同業者間の競争の激化」26.1%、「人手不足」「利幅の縮小」が共に19.6%、「人件費の増加」が15.2%となりました。

【重点施策】

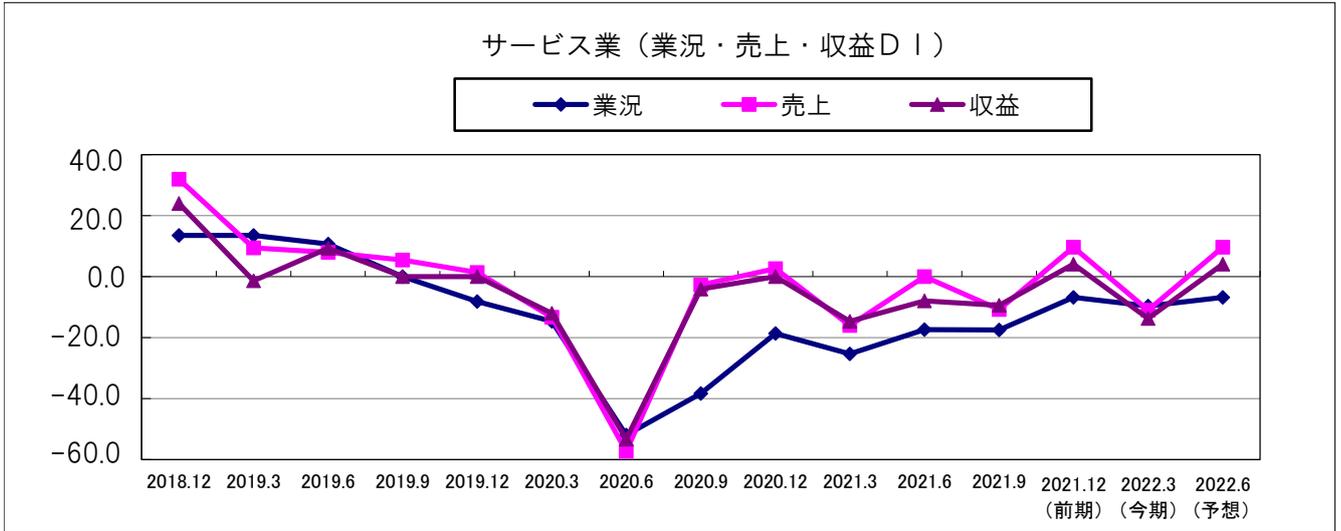
当面の重点経営施策として挙げられたのは「経費を節減する」が47.8%と最も多く、次いで「品揃えを改善する」26.1%、「人材を確保する」19.6%、「売れ筋商品を取扱う」17.4%、「新しい事業を始める」が13.0%となりました。

サービス業

今期：業況・売上・収益D I 共に悪化

来期：業況・売上・収益D I 共に改善の見込み

主要D I 推移

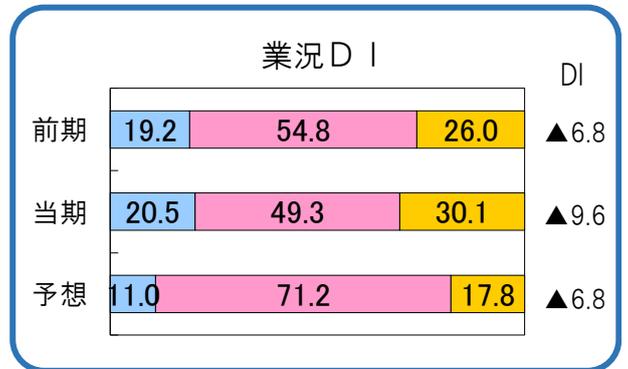


主要D I 構成

○業況D I



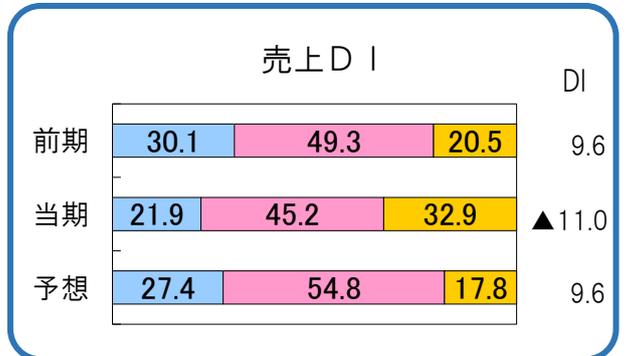
業況DIは、対前期比▲2.8ポイントの▲9.6(前年同期▲25.3・前回予想との差+1.5)の悪化となりました。今後の業況DIについては、対当期比+2.8ポイントの▲6.8と改善を見込んでいます。



○売上D I



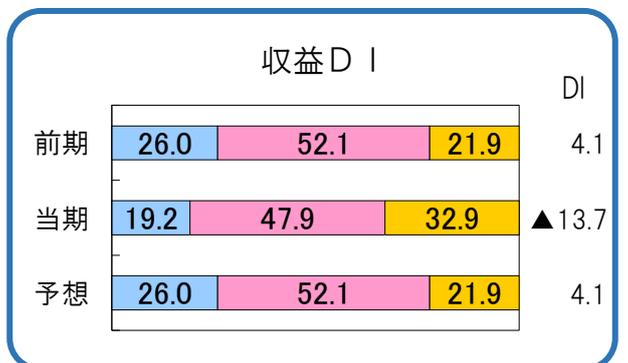
売上DIは、対前期比▲20.6ポイントの▲11.0(前年同期▲16.0・前回予想との差▲12.4)と大幅な悪化となりました。今後の売上DIについては、対当期比+20.6ポイントの9.6と大幅な改善を見込んでいます。



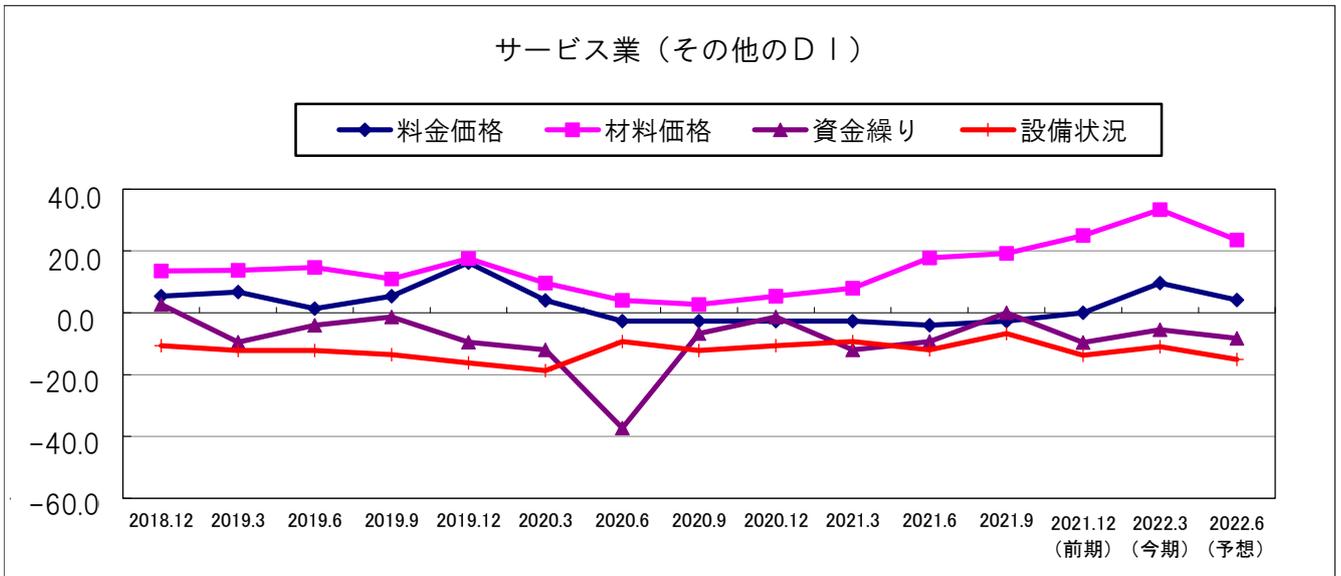
○収益D I



収益DIは、対前期比▲17.8ポイントの▲13.7(前年同期▲14.7・前回予想との差▲15.1)と大幅な悪化となりました。今後の収益DIについては、対当期比+17.8ポイントの4.1と大幅な改善を見込んでいます。



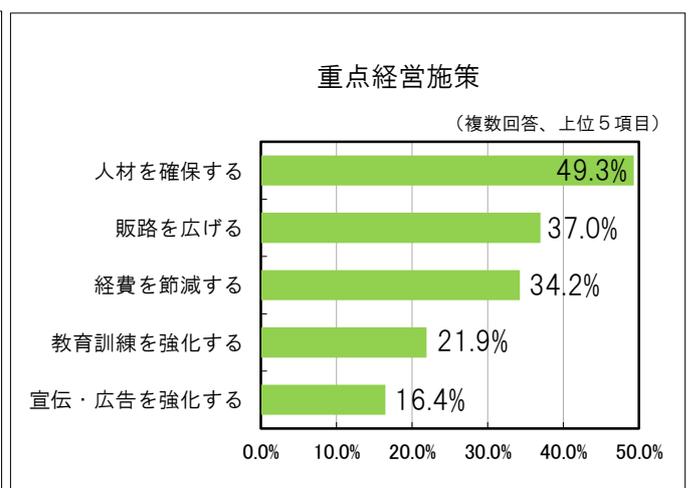
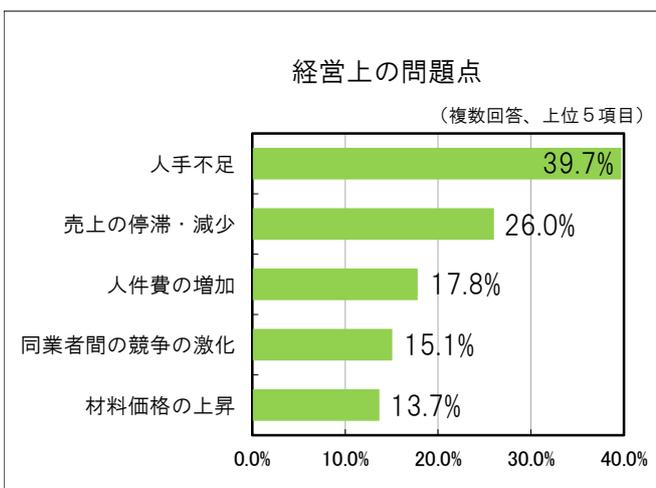
その他のD I 推移



○その他のD I

対前期比でみると、料金価格DIは+9.6ポイントの9.6、材料価格DIは+8.3ポイントの33.3、資金繰りDIは+4.1ポイントの▲5.5、設備状況DIは+2.7ポイントの▲11.0となりました。今後は料金価格DI・材料価格DI・資金繰りDI・設備状況DI全てで低下を見込んでいます。

経営課題・重点施策



【経営課題】

経営上の問題点として挙げられたのは「人手不足」が39.7%と最も多く、次いで「売上の停滞・減少」26.0%、「人件費の増加」17.8%、「同業者間の競争の激化」15.1%、「材料価格の上昇」13.7%となりました。

【重点施策】

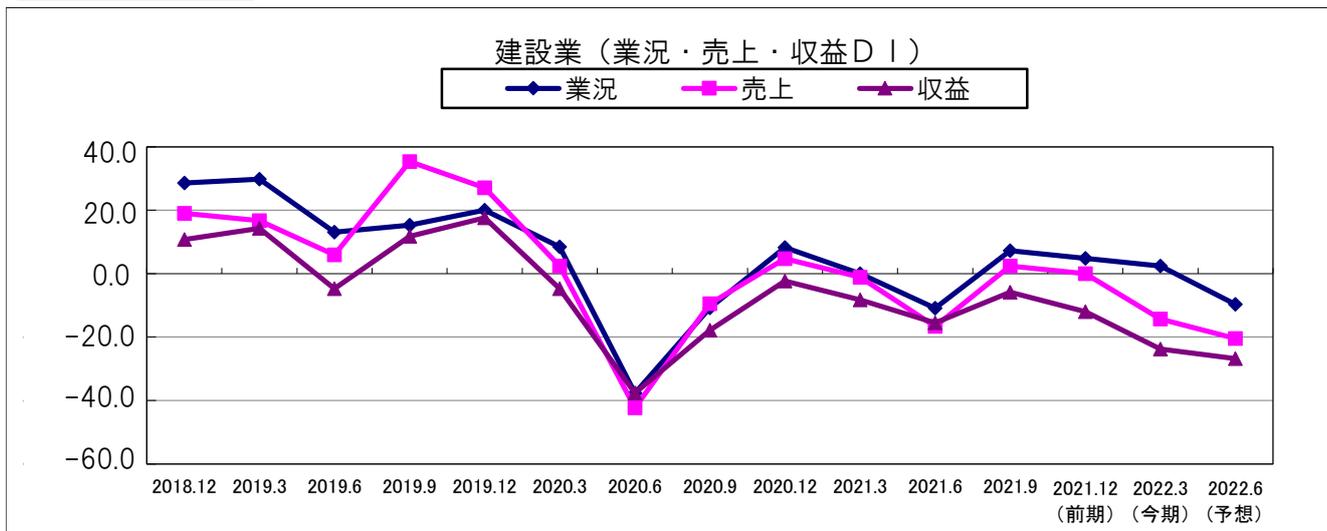
当面の重点経営施策として挙げられたのは「人材を確保する」が49.3%と最も多く、次いで「販路を広げる」37.0%、「経費を節減する」34.2%、「教育訓練を強化する」21.9%、「宣伝・広告を強化する」16.4%となりました。

建設業

今期：業況・売上・収益D I 共に悪化

来期：業況・売上・収益D I 共に悪化の見込み

主要D I 推移



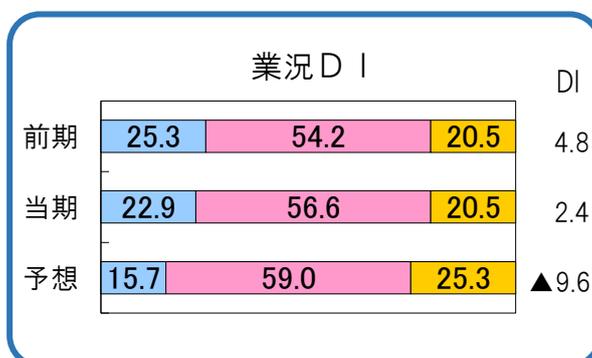
主要D I 構成



○業況D I



業況DIは、対前期比▲2.4ポイントの2.4(前年同期0.0・前回予想との差▲3.6)の悪化となりました。今後の業況DIについては、対当期比▲12.0ポイントの▲9.6と大幅な悪化を見込んでいます。



○売上D I



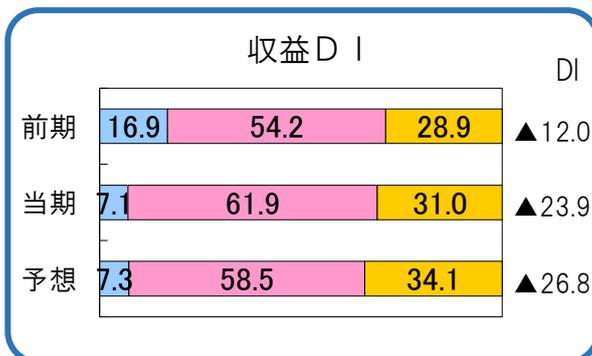
売上DIは、対前期比▲14.3ポイントの▲14.3(前年同期▲1.1・前回予想との差▲13.1)と大幅な悪化となりました。今後の売上DIについては、対当期比▲6.1ポイントの▲20.4と悪化を見込んでいます。



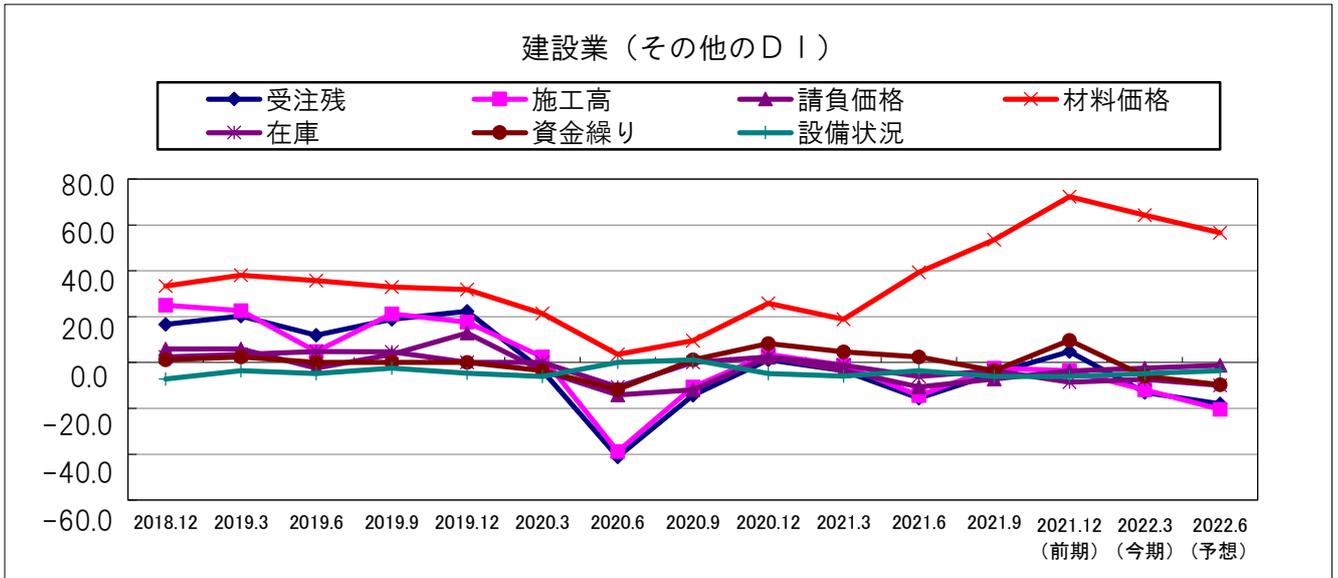
○収益D I



収益DIは、対前期比の▲11.9ポイントの▲23.9(前年同期▲8.2・前回予想との差▲11.9)と大幅な悪化となりました。今後の収益DIについては、対当期比▲2.9ポイントの▲26.8と悪化を見込んでいます。



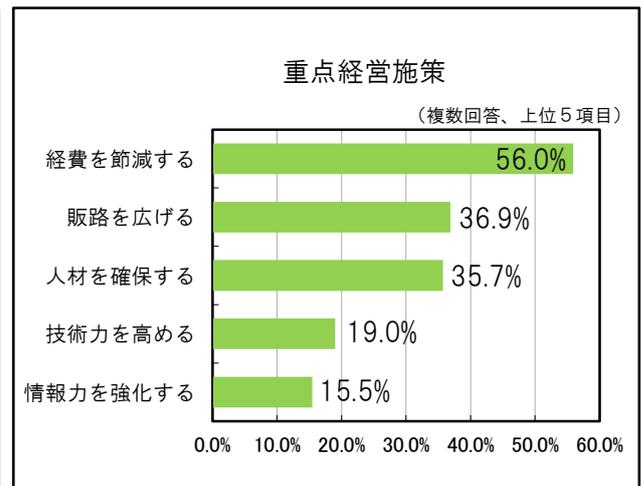
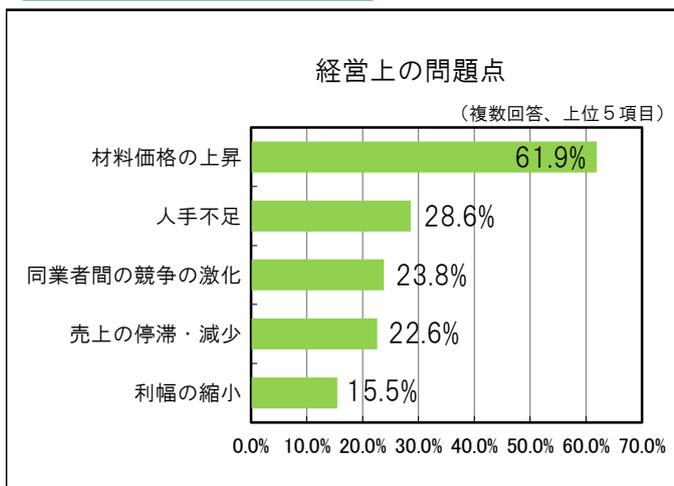
その他のD I 推移



○その他のD I

対前期比でみると、受注残DIは▲17.9ポイントの▲13.1、施工高DIは▲8.3ポイントの▲11.9、請負価格DIは+1.3ポイントの▲2.4、材料価格DIは▲8.0ポイントの64.3、在庫DIは+1.2ポイントの▲7.3、資金繰りDIは▲15.6ポイントの▲6.0、設備状況DIは+1.2ポイントの▲4.8となりました。今後は、請負価格DI・設備状況DIは上昇、受注残DI・施行高DI・材料価格DI・在庫DI・資金繰りDIは低下を見込んでいます。

経営課題・重点施策



【経営課題】

経営上の問題点として挙げられたのは「材料価格の上昇」が61.9%と最も多く、次いで「人手不足」28.6%、「同業者間の競争の激化」23.8%、「売上の停滞・減少」22.6%、「利幅の縮小」15.5%となりました。

【重点施策】

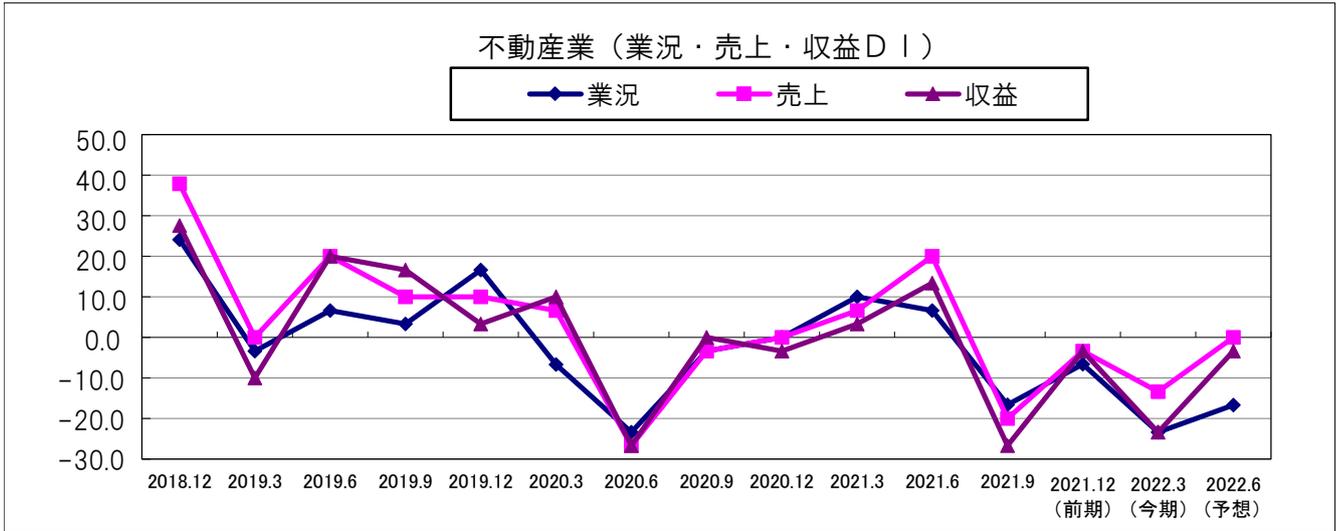
当面の重点経営施策として挙げられたのは「経費を節減する」が56.0%と最も多く、次いで「販路を広げる」36.9%、「人材を確保する」35.7%、「技術力を高める」19.0%、「情報力を強化する」15.5%となりました。

不動産業

今期：業況・売上・収益D I 共に悪化

来期：業況・売上・収益D I 共に改善の見込み

主要D I 推移



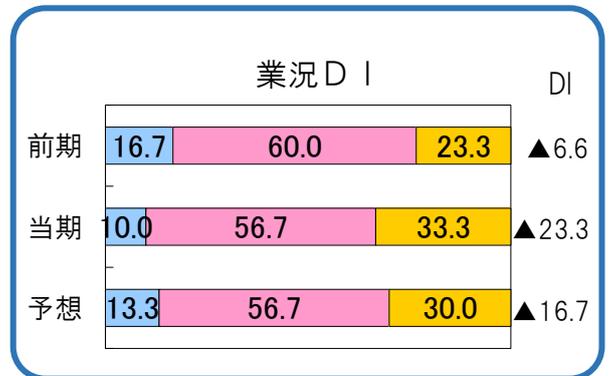
主要D I 構成



○業況D I



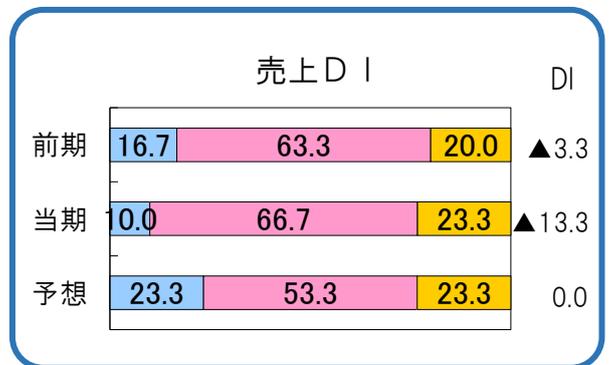
業況DIは、対前期比▲16.7ポイントの▲23.3（前年同期10.0・前回予想との差+3.3）と大幅な悪化となりました。今後の業況DIについては、対当期比+6.6ポイントの▲16.7と改善を見込んでいます。



○売上D I



売上DIは、対前期比▲10.0ポイントの▲13.3（前年同期6.7・前回予想との差+3.4）と大幅な悪化となりました。今後の売上DIについては、対当期比+13.3ポイントの0.0と大幅な改善を見込んでいます。



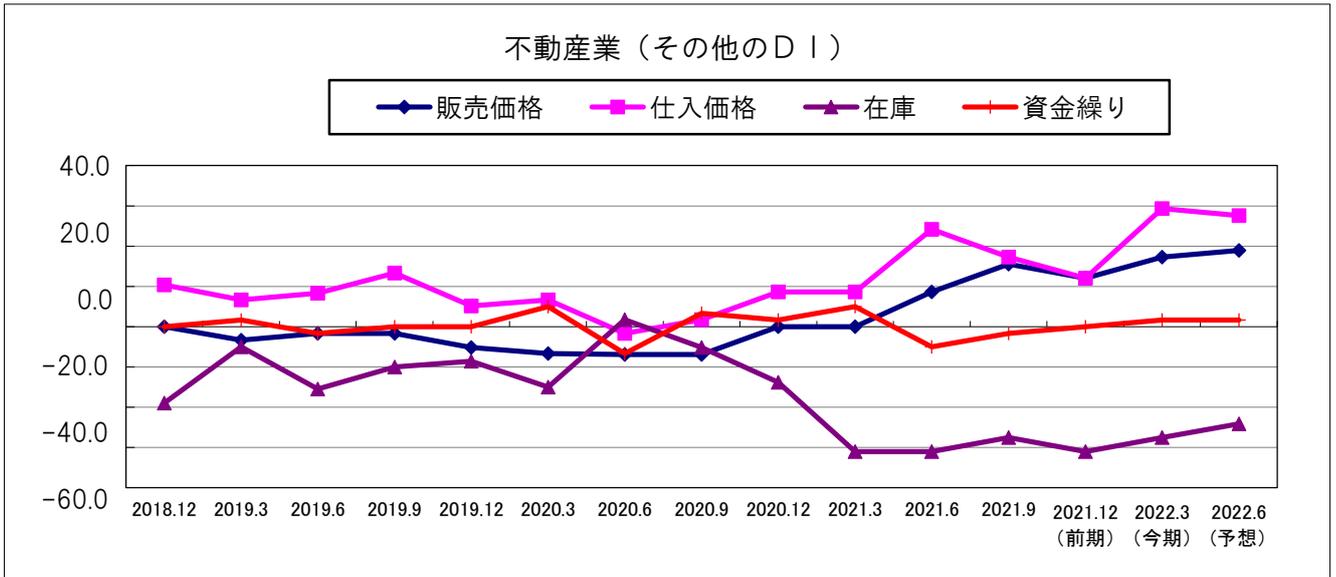
○収益D I



収益DIは、対前期比▲20.1ポイントの▲23.4（前年同期3.3・前回予想との差▲6.8）と大幅な悪化となりました。今後の収益DIについては、対当期比+20.1ポイントの▲3.3と大幅な改善を見込んでいます。



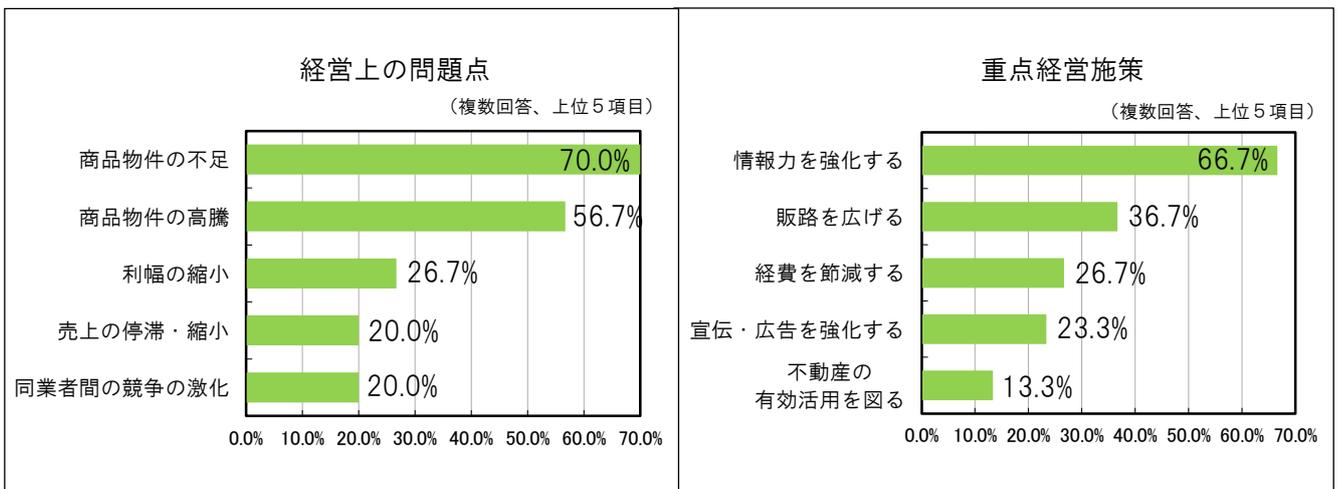
その他のD I 推移



○その他のD I

対前期比でみると、販売価格DIは+10.4ポイントの34.5、仕入価格DIは+34.5ポイントの58.6、在庫DIは+6.9ポイントの▲55.2、資金繰りDIは+3.3ポイントの3.3となりました。今後は、販売価格DI・在庫DIは上昇、資金繰りDIは横這い、仕入価格DIは低下を見込んでいます。

経営課題・重点施策



【経営課題】

経営上の問題点として挙げられたのは「商品物件の不足」が70.0%と最も多く、次いで「商品物件の高騰」56.7%、「利幅の縮小」26.7%、「売上の停滞・縮小」「同業者間の競争の激化」が共に20.0%となりました。

【重点施策】

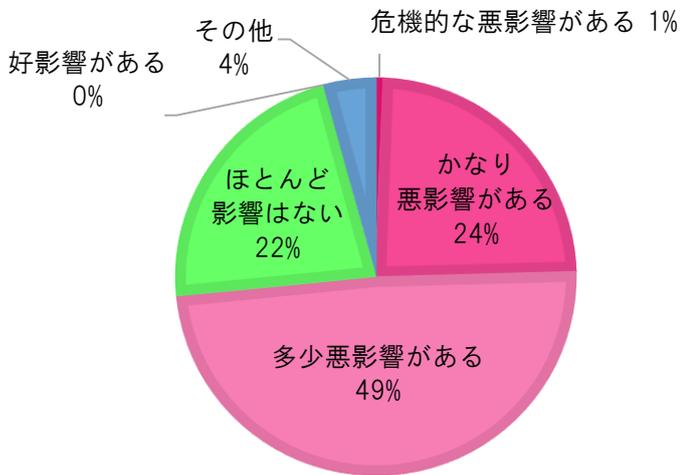
当面の重点経営施策として挙げられたのは「情報力を強化する」が66.7%と最も多く、次いで「販路を広げる」36.7%、「経費を節減する」26.7%、「宣伝・広告を強化する」23.3%、「不動産の有効活用を図る」13.3%となりました。

特別調査

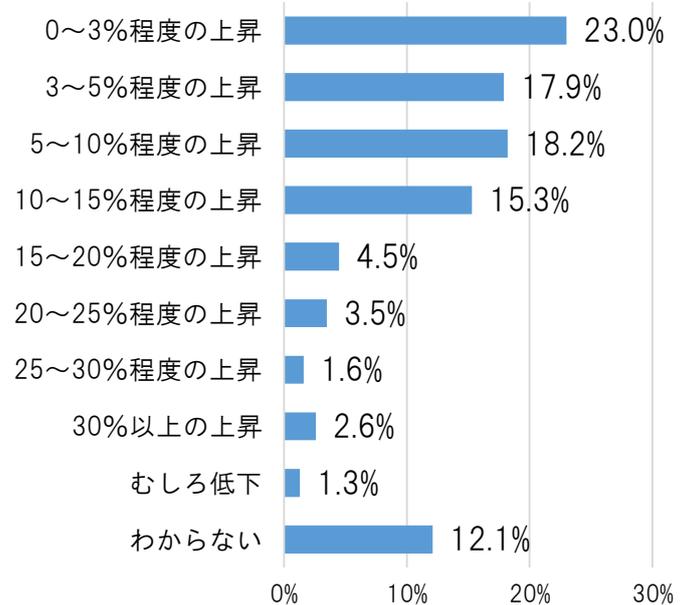
「原材料・仕入価格の上昇による中小企業への影響について」

単位：(%)

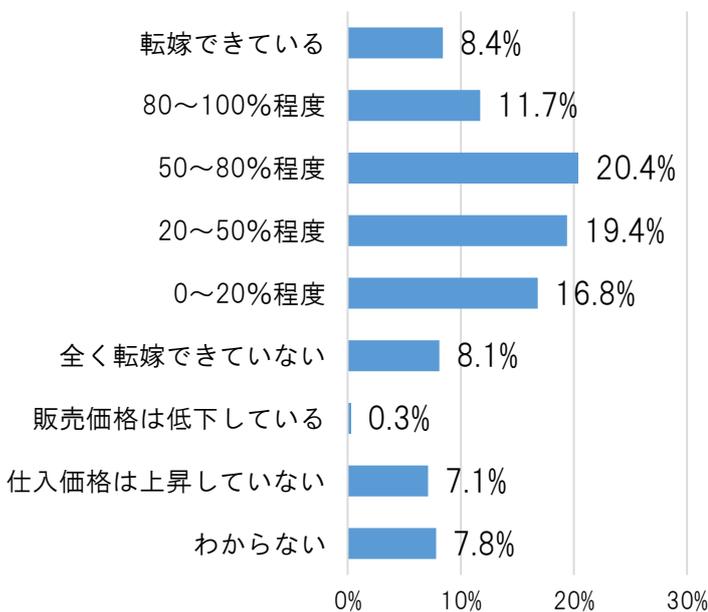
1 最近の原材料・仕入価格の上昇により収益にどのような影響を受けていますか。



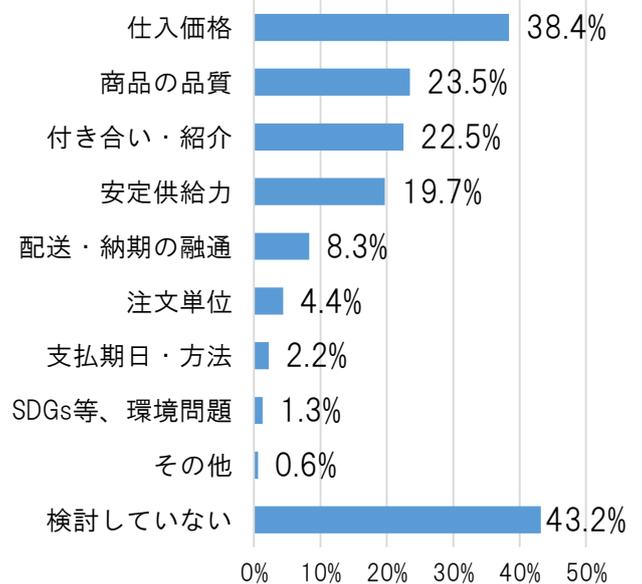
2 原材料・仕入価格は、1年前と比較してどの程度変化しましたか。



3 原材料・仕入価格の上昇のうち、どの程度を販売価格に転嫁できていますか。



4 仕入の困難化に伴い、仕入先を見直す動きも出ています。見直し等を検討するにあたって、重視する点はありますか。(複数回答)



【アンケート調査員のコメント（抜粋）】

- 製造業：事業者の取組みとして、新型コロナの影響を受けた下請先に各種補助金情報等を提供している。
- 卸売業：ウッドショックによる木材の仕入価格高騰は続いている。ロシア・ウクライナ情勢も今後の懸念材料。
- 小売業：コロナ感染状況の悪化に伴い来店客数減少。先行きに不安を感じている様子。
- サービス業：燃料価格の上昇により収益を圧迫している。
- 建設業：材料費の上昇が続いており、販売価格への転嫁が課題。下請け企業との交渉も必要となる。
- 不動産業：不動産業者間の情報を活用し商品不足に対応している。

平塚信用金庫 営業統括部
平塚市紅谷町11-19
(TEL 0463-24-3031)